



災害時の連携強化 県葬祭事業協同組合と協定締結

6月20日市役所で、災害時における棺及び葬祭用品の供給等並びに遺体の搬送等の協力に関する協定締結式が行われました。これは災害などの非常時に、葬儀に必要な資機材の供給、遺体の安置・搬送などの役割の提供をいただくなど、応急処置の円滑化を図ることを目的としたものです。県葬祭事業協同組合 小林 正勝理事長は、「災害時であっても、最期に人としての尊厳を損なうことがないよう協力したい」と話しました。



▲(左から)印南副市長、森島市長、県葬祭事業協同組合 小林理事長、(有)矢板葬祭 江連代表取締役、(株)とちそう 小野田代表取締役

内容に“コミット”して6年ぶり開催 消防団放水点検実施

7月27日矢板小校庭で、消防団放水点検が開催されました。これは、開催中止となっていた「消防団夏季点検並びに消防ポンプ操法競技会」を、趣旨や内容を変更して実施したもので、今回は消防団にとって重要な放水技術の点検を目的に開催されました。出場した団員は「久しぶりのポンプ操作で、もたついた点もあった。日頃からの点検・確認の重要性を痛感した」と話しました。



市と民間企業3社が連携 非常時の防疫体制を強化

7月28日市役所で、(株)エツリン様・(株)Blissful Time様・(株)イージーライン様と災害時及び感染症まん延時における防疫活動に関する協定締結式が行われました。(株)エツリン 江連 秀夫代表取締役は「近年、自治体のレジリエンスが強く求められている。私たちは災害後の回復力に最も注力してきた。グループ各社の強みを横断的に活用し、貢献していきたい」と話しました。



▲(左から)印南副市長、森島市長、(株)エツリン 江連代表取締役、(株)Blissful Time 江連代表取締役、(株)イージーライン 大島代表取締役

コンタクトの空ケース、捨てていませんか？ HOYA (株) アイケアカンパニーと協定締結

7月28日市役所で、廃棄物の減量と資源化を目的に、HOYA (株) アイケアカンパニー様と使い捨てコンタクトレンズ空ケースの回収に関する協定締結式が行われました。リサイクルによって得られた対価は視力回復支援活動に活用されます。竹中 彰カンパニープレジデントは「全国回収率はまだ2%。循環型社会の実現に向け、矢板市の皆様のご協力を」と呼びかけました。



▲(左から)森島市長、HOYA (株) アイケアカンパニー 竹中カンパニープレジデント

笑顔あふれる夏の体験！ 「親子で川の生きものさがし体験教室」

7月25日市役所横の内川で、県農地水多面的機能保全推進協議会と矢東校生をボランティア講師として、水辺に生息する生きものを観察する体験教室が開催されました。子どもたちからは、「大きなカニを捕まえた!」「高校生が手伝ってくれてうれしかった!」といった声が上がリ、捕まえた生きものをうれしそうに見せ合う姿も。参加者全員が自然に親しみながら学び合う、充実した時間となりました。



地域の力が集結 「かたおか夏祭り」で大人も子どもも夏を満喫

8月2日片岡公民館で、KATAOKA BASE主催の「かたおか夏祭り」が開催され、花火やじゃんけん大会、緑日、盆踊りなど、盛りだくさんの内容で大いににぎわいました。さらに今年は、秋 鷗民謡会のご協力の下、子どもたちによるお囃子発表会も初めて実施。かわいらしい笑顔と共に、夏の夜に響く太鼓の音が、会場をいっそう盛り上げました。



なぜ? こんなにも多くの方が ひろまの接骨院を 支持されているのか?

ヘルニア・坐骨神経痛がまんしていませんか?

ひろまの接骨院 HP LINE予約はこちら

〒329-1311 さくら市氏家2532-7 050-8887-2312

「広報やいたを見た」と電話で伝えてください 初めての患者様 お試し4回で 限定1日3名様 1,980円

DJの音楽に合わせてステップ♪ 親子ダンス×ダンス体験教室

8月1日文化スポーツ複合施設で、生涯学習課主催の「親子ダンス×ダンス体験教室」が開催されました。ヒップホップやロック、ブレイキンなど多彩なジャンルを取り入れた振り付けを1時間練習し、最後は舞台上で成果を発表しました。参加者は「みんなで踊って楽しかった」「ステージで踊るのは初めて。貴重な経験になった」と笑顔を見せました。



七夕飾りに願いを込めて 地域の笑顔が元気の源

8月5日片岡公民館で、毎年恒例の旧暦七夕飾りが飾られました。これは片岡長生会の皆さんが、多世代交流を目的に片岡小・こどもの森保育園・かたおか保育園の子どもたちと協力し、作り上げたものです。代表の大類正雄さんは「地域の方から『いつもありがとう』『今年もきれいだね』など声をかけてもらえて、やりがいとなっている。自分たちも楽しみながら活動を続けたい」と話しました。



矢板の熱い夏を駆け抜ける！ たかはらやまトライアスロン

8月3日矢板運動公園をスタート・ゴールとして、「2025 たかはらやまトライアスロン大会」が開催されました。

地元高校生をはじめとする多くのボランティアスタッフによる温かいサポートで運営されている本大会は、「おもてなしNo.1」として親しまれており、当日は148人の“鉄人”たちが集結しました。参加者は「矢板の熱さを今年も楽しめた。また参加したい」と笑顔で話しました。



▲競技の様子

▲給水所や飲食ブースの高校生ボランティア